

# ことわざの謎(解答)

ひとまず、全ての問題の解答を書き出してみましょ。すると、こうなります。

- ・ 同失敗をする→二の舞を「**演じる**」
- ・ 物事がうまく進まず苛々する→「**業**」を煮やす
- ・ 時間は人の都合とは無関係に過ぎていく→「**歲月**」人を待たず
- ・ お喋りは慎むべきである→数を言うまい「**羽織の紐**」
- ・ 柔軟なものの方が硬いものより丈夫である→「**柳**」に雪折れなし
- ・ 無知な人は筋が通っている議論でも屈しない→「**無学者**」論に負けず
- ・ 一度成功したことが二度成功するとは限らない→柳の下の「**泥鰌**」
- ・ 辞職を願い出る→「**骸骨**」を乞う
- ・ 不信心者が困ったときだけ祈る→苦しい時の「**神頼み**」
- ・ 恐ろしいとされるもの→「**地震**」雷火事親父
- ・ 自分だけが想っている恋→「**(磯の)鮑**」の片思い

さあ、問題は法則が何かですが…アワビやドジョウなど、難しい漢字もあるのになぜ全ての問題の答えを漢字で書いているのでしょうか？実は、この漢字が重要なカギになっていたんです。よく漢字を見てみましょう。そして、問題数は追加問題を合わせ12問というのも大きな手掛かりになったいたのですが…お分かりになりましたでしょうか？

…そう、各答えには以下のようなものが隠れていたんです。

「演じる」→「寅」

「業」→「未」

「歲月」→「戌」

「羽織の紐」→「丑」

「柳」→「卯」

「無学者」→「子」

「泥鰌」→「酉」

「骸骨」→「亥」

「神頼み」→「申」

「地震」→「辰」

「(磯の)鮑」→「巳」(鮑のつくりは包じゃないです、閉じてます！)

お分かりですね。全ての答えに隠れていたのは干支だったんです。ということは足りないのは…その前に、選択肢の5つを埋めましょ。

- 1.思いがけない形で良いことをする→「牛」にひかれて善光寺参り
- 2.求めすぎるあまり欲しいものが見えない→「餓鬼」の目に水見えず
- 3.幼いころからの友人である→「竹馬」の友
- 4.弁舌が非常に巧みで滞りがない→「立て板」に水
- 5.怪しまれるようなことはすべきではない→瓜田に「履」を納れず

さあ、もう何が隠れているものを探せばいいかは分かるでしょう。

問題群に唯一なかった干支は？そう、馬ですね。ということで、正解は

3.幼いころからの友人である→「？」の友

…なんて早とちりしないでくださいね。隠れてるのはあくまで干支の漢字ですから、探すべきは「午」ですよ。

ということで、正解は

1.思いがけない形で良いことをする→「？」にひかれて善光寺参り

でした。